

備前市事務事業評価表

事務事業名	青少年健全育成事業		コード	担当課係	生涯学習課生涯学習係
			03-02-02-02	担当者	波多野 靖成
事業実施期間	昭和46年度～		電話	0869-64-1841	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	青少年教育			
	施策	青少年健全育成活動の充実			

事業について	
目的	青少年の健全な育成を期する。
対象 (誰のために)	20歳未満の青少年
内容	青少年育成センターにおいて、非行防止のための街頭指導、巡回補導、有害図書の本ポスト回収、青少年に関わる悩み相談などを行う。また、青少年健全育成講演会、保護者対象の懇談会、健全育成大会、広報紙、啓発カレンダーの作成などの啓発活動を行う。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
街頭指導・補導巡回・相談件数	386 件		
補導人員	114 人		
白ポスト回収状況	548 件		
健全育成大会参加者数	440 人		
啓発ポスター・標語・作文応募件数	1,808 件		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	13,861	国庫補助金等	200	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	5,975	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	19,836	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.60	人		人
結果指標①	結果指標名	街頭指導・補導巡回・相談件数		
	結果指標量	386		
	単位	件		
	対前年比	—	0.00%	
結果指標②	事業費	7,992,000	円	
	単位当たりコスト①	20,705	円	
	結果指標名	啓発ポスター・標語・作文応募件数		
	結果指標量	1,808		
対前年比	—	0.00%		
事業費	3,864,000	円		
単位当たりコスト②	2,137	円		

事業の成果	20歳未満人口 7,299人		
成果指標名	補導率	式又は説明	補導人数/20歳未満人口
17年度			
成果指標量	1.56%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	1.30%	到達目標年度	平成20年度

(平成17年度事業)

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	青少年の健全育成を図るためには、様々な環境の整備が必要である。単なる非行補導に留まらず、非行発生の予防及び青少年を地域で見守っていただくよう、各地域における団体との連携が不可欠である。	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	400件	結果指標量②	1800件
目標値	成果指標量	1.30%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	地区育成会・PTA・幼児クラブなど地域社会にとってかけがいのない団体への啓発活動	平成19年度	各種懇談会をPRし、さらに講演会・研修会で健全育成の啓発を図りその認識を高める。